

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年7月13日
【四半期会計期間】	第104期第2四半期（自平成30年3月1日至平成30年5月31日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 野村 茂光
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 松下 田佳子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第103期 第2四半期連結 累計期間	第104期 第2四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自平成28年 12月1日 至平成29年 5月31日	自平成29年 12月1日 至平成30年 5月31日	自平成28年 12月1日 至平成29年 11月30日
売上高 (千円)	2,852,503	2,729,484	5,854,030
経常利益 (千円)	162,111	130,962	354,472
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	128,561	102,648	264,835
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	144,717	44,837	345,343
純資産額 (千円)	1,869,326	2,089,702	2,069,829
総資産額 (千円)	6,952,117	6,991,036	7,121,104
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	129.05	103.05	265.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.89	29.89	29.07
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	352,063	150,496	522,809
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	30,926	39,897	83,743
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	98,461	95,191	89,334
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,444,114	1,580,048	1,374,442

回次	第103期 第2四半期連結 会計期間	第104期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成29年 3月1日 至平成29年 5月31日	自平成30年 3月1日 至平成30年 5月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	65.90	47.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載いたしました「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

##### (経営成績の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が引続き見られ景気は緩やかな回復が続いているものの、米国の保護主義政策の動向などにより景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは前連結会計年度に引き続き、新規需要開拓、生産効率の向上などの事業基盤の拡充に注力致しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,729百万円（前年同期比4.3%減）となりました。利益については、経常利益130百万円（前年同期比19.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益102百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

なお、当社グループは、塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

##### (財政状態の分析)

###### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が205百万円増加し、受取手形及び売掛金が287百万円、投資有価証券が81百万円それぞれ減少したこと等により、6,991百万円（前連結会計年度末比130百万円減）となりました。

###### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が83百万円増加し、支払手形及び買掛金が209百万円減少したこと等により、4,901百万円（前連結会計年度末比149百万円減）となりました。

###### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が77百万円増加し、その他有価証券評価差額金が58百万円減少したこと等により2,089百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,580百万円（前年同期末残高1,444百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は150百万円（前年同期は352百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益130百万円、売上債権の減少額287百万円、仕入債務の減少額209百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は39百万円（前年同期は30百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための有形固定資産の取得による支出39百万円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は95百万円（前年同期は98百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出242百万円、短期借入金の純増額70百万円等によるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は143百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

また、研究開発による新製品は、次のとおりであります。

- ・特化則対応ウレタン樹脂塗料

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,000,000	1,000,000	(株)東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	1,000,000	1,000,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成30年3月1日～ 平成30年5月31日	-	1,000,000	-	500,000	-	41,095

(6)【大株主の状況】

平成30年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
川上塗料共栄会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	72	7.24
三井物産(株)	東京都千代田区丸の内1-1-3	60	6.01
三井化学(株)	東京都港区東新橋1-5-2	57	5.70
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区八重洲1-2-1	26	2.60
畠山 美苗	富山県富山市	23	2.36
住友生命保険(相)	東京都中央区築地7-18-24	22	2.25
(株)SBI証券	東京都港区六本木1-6-1	21	2.17
大石 和弘	埼玉県新座市	21	2.12
川上塗料従業員持株会	兵庫県尼崎市塚口本町2-41-1	18	1.90
松井証券(株)	東京都千代田区麹町1-4	16	1.60
計	-	339	33.95

- (注) 1. は当社取引先の販売店持株会であります。  
2. 所有株式数は千株未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(普通株式) 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	(普通株式) 989,600	9,896	-
単元未満株式	(普通株式) 4,700	-	-
発行済株式総数	1,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,896	-

【自己株式等】

平成30年5月31日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
川上塗料(株)	兵庫県尼崎市塚口本町 2 - 41 - 1	3,000	-	3,000	0.30
(株)友進商会	大阪府守口市大庭町2 - 8 - 24	-	2,700	2,700	0.27
計	-	3,000	2,700	5,700	0.57

(注) (株)友進商会は当社取引先の販売店持株会である川上塗料共栄会(兵庫県尼崎市塚口本町2 - 41 - 1)の会員であり、川上塗料共栄会名義で所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成30年3月1日から平成30年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年12月1日から平成30年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、新日本有限責任監査法人は平成30年7月1日をもって名称をEY新日本有限責任監査法人に変更しております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,374,442	1,580,048
受取手形及び売掛金	2,321,846	2,034,842
商品及び製品	716,061	786,595
仕掛品	31,503	27,655
原材料及び貯蔵品	282,355	260,968
その他	75,804	68,461
貸倒引当金	2,454	2,456
流動資産合計	4,799,558	4,756,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	362,767	355,687
機械装置及び運搬具(純額)	205,175	193,789
土地	710,682	710,682
その他(純額)	163,653	146,465
有形固定資産合計	1,442,279	1,406,624
無形固定資産	6,934	6,122
投資その他の資産		
投資有価証券	778,556	697,131
その他	93,775	125,042
投資その他の資産合計	872,331	822,174
固定資産合計	2,321,546	2,234,921
資産合計	7,121,104	6,991,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,736,127	1,526,515
短期借入金	1,289,677	1,372,779
未払法人税等	51,268	41,104
その他	365,454	294,889
流動負債合計	3,442,526	3,235,288
固定負債		
長期借入金	652,776	697,558
役員退職慰労引当金	78,313	77,395
退職給付に係る負債	710,286	733,339
その他	167,372	157,752
固定負債合計	1,608,747	1,666,045
負債合計	5,051,274	4,901,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	41,095	41,095
利益剰余金	1,177,436	1,255,160
自己株式	8,014	8,053
株主資本合計	1,710,517	1,788,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	393,270	334,616
退職給付に係る調整累計額	33,958	33,115
その他の包括利益累計額合計	359,312	301,500
純資産合計	2,069,829	2,089,702
負債純資産合計	7,121,104	6,991,036

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	2,852,503	2,729,484
売上原価	2,268,757	2,184,955
売上総利益	583,746	544,528
販売費及び一般管理費	1,440,295	1,433,782
営業利益	143,450	110,746
営業外収益		
受取利息	32	13
受取配当金	9,918	9,731
持分法による投資利益	530	1,077
技術権利料	11,664	10,400
その他	3,104	5,770
営業外収益合計	25,250	26,993
営業外費用		
支払利息	6,372	5,408
その他	216	1,368
営業外費用合計	6,589	6,777
経常利益	162,111	130,962
特別利益		
固定資産売却益	2,643	-
特別利益合計	6,437	-
特別損失		
固定資産譲渡損	3,143	-
特別損失合計	1,433	-
税金等調整前四半期純利益	167,115	130,962
法人税、住民税及び事業税	40,618	28,615
法人税等調整額	2,063	302
法人税等合計	38,554	28,313
四半期純利益	128,561	102,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,561	102,648

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	128,561	102,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,622	58,654
退職給付に係る調整額	465	842
その他の包括利益合計	16,156	57,811
四半期包括利益	144,717	44,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,717	44,837
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	167,115	130,962
減価償却費	56,326	59,267
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,146	2
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	20,380	24,268
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,185	918
受取利息及び受取配当金	9,950	9,744
支払利息	6,372	5,408
為替差損益(は益)	184	190
持分法による投資損益(は益)	530	1,077
固定資産売却損益(は益)	6,437	-
売上債権の増減額(は増加)	328,906	287,003
たな卸資産の増減額(は増加)	49,551	45,298
仕入債務の増減額(は減少)	199,869	209,612
その他	17,785	66,821
小計	397,931	173,629
利息及び配当金の受取額	9,950	9,744
利息の支払額	6,336	5,440
法人税等の支払額	49,482	27,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,063	150,496
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	37,380	39,440
有形固定資産の売却による収入	7,005	-
投資有価証券の取得による支出	180	181
その他	369	275
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,926	39,897
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	70,000
長期借入れによる収入	400,000	300,000
長期借入金の返済による支出	223,984	242,116
リース債務の返済による支出	8,021	8,021
配当金の支払額	19,283	24,650
その他	249	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,461	95,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	189	184
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	419,787	205,606
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,326	1,374,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,444,114	1,580,048

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

三井物産ケミカル(株)の売掛債権に対する保証額であります。

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
	27,399千円	19,778千円

2. 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
	- 千円	9,224千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
従業員給料及び手当	116,273千円	114,337千円
運賃及び荷造費	73,189	71,935
退職給付費用	9,463	10,782
役員退職慰労引当金繰入額	5,185	5,932
貸倒引当金繰入額	1,146	2

2. 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
工具、器具及び備品	6,437千円	- 千円

3. 固定資産譲渡損の内容は、次のとおりであります。

土地の無償譲渡による損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
現金及び預金	1,444,114千円	1,580,048千円
現金及び現金同等物	1,444,114	1,580,048

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月24日 定時株主総会	普通株式	19,942	2	平成28年11月30日	平成29年2月27日	利益剰余金

(注)当社は、平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成29年2月24日定時株主総会決議による1株当たり配当額につきましては、当該株式併合前の実際の配当額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年2月23日 定時株主総会	普通株式	24,924	25	平成29年11月30日	平成30年2月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年5月31日)

当社グループは塗料の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
1株当たり四半期純利益	129円05銭	103円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	128,561	102,648
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	128,561	102,648
普通株式の期中平均株式数(株)	996,245	996,146

(注)1.潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2.平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年7月13日

川上塗料株式会社  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小竹 伸幸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 守谷 義広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川上塗料株式会社の平成29年12月1日から平成30年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成30年3月1日から平成30年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年12月1日から平成30年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川上塗料株式会社及び連結子会社の平成30年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。